

地方会議（秋田県秋田市）

1. 日時、場所

平成24年11月17日（土） 13時00分～15時00分
ふきみ会館 3階鳳凰の間

2. 参加者

地元の若手・女性の中企業経営者等 60名

3. 参加者の意見

（1）出された意見数（課題別）

全体意見数	30
資金調達	0
経営指導・経営支援	10
技術力・人材（技能承継等）	5
取引関係（下請取引・流通構造等）	0
販路開拓（海外展開等）	3
若手・青年層の活力発揮	2
女性層の活力発揮	1
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	4
その他	5

（2）主な意見

【経営指導・経営支援】

- ・色々なセミナーや補助金があるのは助かるが、結局どこに相談したらよいか分からない。ワンストップになっているわけでもなく、支援機関が乱立している印象がある。
- ・補助金等の申請書類が、煩雑で大変。中小企業にとっては、一度も作ったことのないような資料も多く、相談しても「そちらにあるもので対応してほしい」と言われて終わることも。テンプレートや他の事例を提示してくれるぐらいのサポートはほしい。
- ・周りに文句を言うのは簡単だが、経営者自身をもっと勉強して、どうすべきか考えるべきである。このような機会の提供が、国の施策等であればいいと思う。

【技術力・人材（技能承継等）】

- ・空き店舗対策の前に、空きがでないようにするべき。譲りたい店と、譲ってもらいたい人をマッチングしてくれるところがない。
- ・サラリーマンではなく、企業のリーダーを育てるための、キャリア教育があってもよいのでは。

【販路開拓（海外展開等）】

- ・技術だけあっても、マーケティングの能力がないと意味がない。いいものを作っても、売れなければ生活できない。

【若手・青年層の活力発揮】

- ・組合の青年部が少なくなっている。情報がほしい、人とのつながりがほしい、活動できる環境をつくりたい人にはメリットがあると思うのだが、人との関わりが面倒、ネットで売ればそれでいい、と考える若者が増えているよう。

【女性層の活力発揮】

- ・女性は仕事と子育てを両立したいという想いが強い。支援策等の情報発信をもっとしてほしい。大きな新聞には載っていると思うが、地方紙にも載せてほしい。

【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・商店街でイベントを開催しても、売上アップにはつながっていないのが現状。商店街の名前を売って、何かあったときに、商店街を思い出してもらい、利用してもらうことを目標にしている。
- ・ふくい青年中央会が、地域のものを皆で使おう、と「どうせ買うなら」という取組をしており、秋田でもやってみたいと思っている。単独企業では難しいが、複数の企業でなら取り組めると思う。

【その他】

- ・祭などで出店しようとする、保健所のルールで、一品につき2,800円の手数料がかかる。その他にも、テント、人員、検便など、大変手間がかかる。地域の活性化のために、せっかく頑張っている、要件等を緩和してほしい。
- ・20~30年後には、県魚であるハタハタが捕れなくなる。捕る人もいなくなると言われている。漁業も今後どうなるか不安。日本海側は水温が低く、養殖も難しい。